



西川

平成18年
6月定例議会

57

議会だより



(守ろう子供の安全)

一般議案・条例案・補正予算案	2
請願	3
一般質問	4~7
議会のうごき	8~9
もったいないシリーズ	10

発行
西川町議会

編集
議会広報調査特別委員会

〒990-0792

山形県西村山郡西川町大字海味510

TEL 0237-74-5055

FAX 0237-74-4466

発行日 平成18年7月15日

第2回 6月定例議会

一般議案・条例案・補正予算案

補正額 10,582千円 予算総額 4,510,582千円

議決された 議案

西川町立病院及び西川町立診療所使用料、手数料条例の一部を改正する条例の制定についての専決処分の承認について

入院時食事療養費に係る食事療養の費用負担額基準の改正

西川町障害程度区分判定審査会の委員の定数等を定める条例の制定について

障害程度区分判定審査会の委員の定数は十人以内とし、委員の報酬を一回一〇、〇〇〇円とする

西川町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

国民保護協議会委員、防災会議委員の報酬は日額七、〇〇〇円とする

西川町農村地域工業導入地区固定資産税課税免除条例の一部を改正する条例の制定について

「平成十八年三月三十一日」を「平成二十年三月三十一日」に改める

西川町社会福祉医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

知的障害者援護施設に係る施設訓練等支援費の支給対象者及び知的障害者援護施設措置費の支弁対象者に係る部分の改正

一般会計補正の主な内容

社会福祉法人減免事業費
五十万八千円

老人保健特別会計へ繰出金
四百一万八千円

委託料（所得データシステム構築費）
百六十二万八千円

落雪による車損傷への賠償金
四十六万八千円

間沢区へ事業助成金
菊まつり音響設備、テント購入費
二百四十万円

報告事項

報告第一号

平成十七年度西川町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告

1、役場庁舎改修事業（地下室のアスベスト除去工事）翌年度繰越額二百七十三万円

2、特定公共賃貸住宅設備事業（2LDK三棟）翌年度繰越額六千七百六十二万七千円

3、開発センター補修事業（アスベスト除去工事）翌年度繰越額九百万円

報告第二号

平成十七年度西川町立病院事業会計予算繰越計算書の報告

アスベスト改修型優良建築物整備工事三千七百八十万円

報告第三号
第十五期西川町総合開発株式会社の経営状況が報告



発芽胚芽米調査

韓国から月山へやって来た!



平成 17年度西川町総合開発株式会社部門別売上高

部 門	金額(千円)	構成比	前年比(千円)
月山湖売店	105,408	18.3%	23,675
ふるさとクーポン	30,881	5.3%	4,561
西川町民スキー場	3,434	0.6%	324
月山自然水	38,176	6.6%	207
西川町立病院	23,949	4.2%	12
地ビール月山	18,279	3.2%	1,215
銘水館レストラン	72,905	12.6%	9,384
銘水館売店	70,613	12.3%	11,302
大井沢温泉館	27,694	4.8%	257
丸山薫記念館	4,348	0.8%	10,025
大井沢伝承館	10,665	1.8%	1
水沢温泉館	46,254	8.0%	3,604
弓張平オートキャンプ場	25,227	4.4%	1,394
弓張平公園	15,280	2.6%	927
水沢温泉館(売店)	28,597	5.0%	224
山形県立自然博物館	22,029	3.8%	3,869
月山荘	15,962	2.8%	763
森業・山業	9,080	1.6%	9,080
一般(その他)	7,619	1.3%	292
計	576,400	100.0%	11,230

請

願

一、高金利引下げに関する意見書を採択し、関係省庁に提出した。

二、教職員定数改善のための次期計画を策定するよう、国に対して意見書の提出を求める請願書については、議会閉会中もなお継続審査を要するため継続審査をおこなう。

再選インタビューで合併について語った真意と 新合併特例法をどう捉えているか

町長...一市四町を基本に考える。



池上 博 議員

県の合併構想を どう考える

県は新合併特例法に基づき、村山地域は三つの市にする素案等三通りの構想を提示。町長は県の素案を意に留めず、「東根市と一体となれば」と言う突飛な発言。その根拠は。

本年三月に県が発表した市町村合併推進構想は、実態から言って常識なものと思いますが、仮に合併を考えるのであれば、私は、まず一市四町を基本に考えるべきと思っています。しかし現状からはなかなか困難と思われ、将来をも考えたときには村山地域全体を考へることも一つの考え方はないかと発言したものです。

福島県矢祭町のような町づくりができないとすれば、期限内の合併を真剣に考える必要があると思うが。

合併問題は、現在はまず

自立を目指すということを進めており、その実現に全力を傾注すべきと考えています。しかし、これから先、絶対に合併はしないなどとは言いません。その理由は、行政の仕事は、町民がいかにしたら幸福になれるのか、その追求にほかならないからです。今後においても、国や県の動向、あるいは近隣市町村の動きなどを十分に留意して取り組んでいかなければと考えています。

ハコモノを どう考える

地方交付税の削減幅は更に大きくなり、県の補助金も従来通りには支給されない。人口一万人未満の町村は安定的な行政サービス確保が懸念されている。町の対応と県のハコモノ抑制への考えは。

今後の市町村運営については、三位一体の最終の姿

がどうなるのかによって大きく左右されるものであり、町でもそれらを想定してあらゆる面の見直しを進めていくことにしています。財政運営が一万人以上と一万人

未満で大きな差が出てくるとは、現在はないと捉えています。ハコモノについては真に必要なものかどうかの見極めが必要とと思っています。



間沢地内

町の景観をいかように捉えているか

町長...改めて検討していく。



古沢 俊一 議員

世界遺産登録への取組みは

山形県は世界遺産育成候補地として、「民間の山岳信仰文化が育んだ出羽三山等の風土」を選定。西川町も入る大構想が進む中、本町をピアーするに、何より素晴らしいきっかけになる。

この世界遺産登録に向けての考え及び意気込みは。

西川町には豊かな自然と歴史・文化があり、町民自らが誇りと自信を持つとともに、後世に引き継ぐことが私たちの大きな使命であります。

その豊かな自然や歴史を活かして、この町をさらに発展させていくことも極めて重要と考えている。県が進めている出羽三山等の世界遺産登録は大いに歓迎すべきことであり、町も積極的に運動や協力をしている。なければならないと考えている。

ただ単に観光客が増加するだろうということばかりでなく、これまで以上に、保全するという、重要で、容易でない新たな任務も出てくるものと受け止めています。

景観を壊す

廃屋の対策は

廃屋は町の活力とイメージをダウンさせるだけでなく、益々過疎に拍車をかけ、地域づくりの熱気も失わせる。この状況をどのように把握しているか、また景観条例を作れないか。

廃屋や空家対策は、基本的には個人の所有物であり、これを処理するか否かは個人の判断と負担だということと、行政の任務は、その所有者に片付けていただく、または適性に管理いただくよう促すのが第一義である。その義務付け等については、現行法上では廃棄物という点からしか見つけられない

のが現状です。しかし、本町の実態は議員がおっしゃるとおりで、区長会議などでも同様のご意見をお聞きしておりますので、改めて検討していきたいと思っております。

景観の悪い非常に危険な

建物が国道沿いにある。災害から身を守るため、関係機関と協力し早期の解決を。

国道脇の工場については要請を行っており、前向きな答えを聞いています。



雪に埋もれた工場

小学校学区再編、地域支援職員派遣について

町長...新築一校で進めます。
地域支援は協働のまちづくりを実現するため。



渋谷雄三郎 議員

小学校再編は

議会調査特別委員会で採決された「一校新築」少数否決の議決をどうのように認識されているか。

小学校学区再編について、議会の特別委員会の中でご検討をいただいております。現時点では、報告書の提出までは至ってなく、継続審議中とお聞きしており、そういう中でいろいろ申し上げるべきでないと思っております。

ただ私は、議会として、できるだけ早い時期に結論をだしていただき、将来の西川町を担う子どもたちのために躊躇せず推し進めていかなければならないと考えています。

既存校舎利用より新築の方が金がかからないとしているが、平成四十四年の人口をどのように推計しているのか。

町報四月号の総合開発審

議会の要旨で、新築反対の意見がまったく載っていないが、作務的なものではないのか。

新築に投資するより企業誘致や産業振興・子育て支援に力を入れるべきでないのか。

平成四十四年の人口推計はなかなか困難です。新築の結論は、多くの方々のご意見を参考にして策定した町としての結論で、将来の西川町を担う子どもたちのための投資は是非必要です。

町民アンケートをとってはどうか。

議論をいただきながら進めてきたわけであり、アンケートはとる必要はないと考えています。

地域支援は

町民の目線で

職員の公募の状況と身分保障はどうか。なぜ四地区

なのか。今年度は、実態の把握で来年度から本格的な事業実施としているが、具体的にどういうことか。

地域支援職員派遣事業は、地域と行政の距離感をできる限り少なくし、町民、地域、町との協働のまちづくりを実現することを目的にしています。

この事業は、業務の一つとして位置づけており、多くの地区から受け入れ希望の申し出がありました。

今年初めての事業でもあり、この事業そのものにも



学校調査

問題や課題があることを想定し、四地区にしたものです。

本年度の結果を受けて、来年度以降、すべての地区に派遣できるようにしたいと考えています。

一校新築による学区再編で地域の行事は

町長...これまでの行事を継続するように努力する。
学区再編と町村合併は切り離すべき。



渡邊久一郎 議員

地域の

伝統行事は

自立を目指す町づくりは、町内全地区の活力ある地域づくりが必要不可欠である。小学校を一校に統合した場合、それぞれ伝統のある行事をどのように構築していくのか、又、地域づくりの主役を担ってきた小学生のかかわりをどのようにするのか。

これまで、特に小学校は地域と深いかかわりを持ちながら、地域づくりの一翼を担ってきたのは事実ですが、将来の児童数等を考え、どうしても学区再編は避けられないと判断し現在進めています。学校が離れば各地区と学校の連携維持はこれまでとまったく同じようにはいかないわけですが、これまでの貴重な実践や活動を継続・実現できる工夫を、小中一貫教育や協働のまちづくりの中で、新たな仕組みや取り組みを考

え、町内の子どもは町民が等しくかかわれることを目指すべきと考えています。

合併は 考えているのか

県は今年三月、新たな市町村合併推進構想を公表しました。本町は自立への挑戦を進めておりますが、この先、人口、財政、非常に厳しいものと推測されます。町村合併が、視野に無いとするならば、新築は町の将来に大きな負の資産となるため、既存校舎利用を検討すべきである。一方合併を視野に入れるとするならば、新築一校を進めるべきであると思う。

私は、率直に申し上げて、現時点では、学区再編と市町村合併は切り離して考えるべきと思っています。理由は、学区再編は十九年に岩根沢・入間・大井沢各小学校が水沢小学校に編入統合、二十四年には一校統合

ということを進めなければならぬ喫緊の課題であり、市町村合併は、今すぐ判断できるものではないからです。今後の市町村合併に対する考え方は池上議員にお答えしたとおりですが、交付税や税源移譲がどうなる

のか、そのことを考えずに、ただ町民の皆さんを路頭に迷わすわけにはいかないと考えており、それらも充分に念頭に置き町の運営にあたっては思えばと思っております。



睦合小相撲場

議会のうごき



研修会：議会活性化調査特別委員会

臨時議会

4月26日

町税条例の一部改正

個人の町民税の非課税の範囲、所得割の税率、一律六パーセントなど改正

国民健康保険税の改正

介護納付限度額を八万円を九万円に引き上げる

国民健康保険条例一部改正

健康保険税の改正に伴い条例の一部を改正する

病院事業の補正予算

アスベスト改良工事に伴う借り入れ、二千七百二十万円

西村山広域行政事務組合議会

第一回定例会

会期 三月二十八日

議第二号 十七年度一般会計補正予算第三号、三十二万円を追加、十六億四千万とする

議第三号 十八年度一般会計予算 総額十六億四千万とする

議第四号 十八年度クリーンセンター、斎場特別会計総額十五億一千万円とする

議第五号 十八年度交通災害共済特別会計、総額三千六百八万円とする

議第六号 一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について

議第七号 一般職の職員等の旅費に関する条例の一部改正について

議第八号 人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の制定について
いずれも可決されました。

村山地方町村議会議長会表彰

自治功労、十年以上



黒坂 久一

これを期にさらに頑張るつもりです。



阿部孝太郎

町民の皆さんに感謝しています。



山内正名夫

町民の皆さんに応援していただいたおかげです。



渋谷 清

本当にありがとうございました。



新宮 隆

うれしい限りです、ありがとうございます。

全員協議会

6月7日

地域支援職員派遣について

地域の実態、課題の把握に努め本年度は4地区派遣

一般廃棄物処理計画(案)について

一般廃棄物処理の目標を定め、減量目標はピーク時の5%削減

社会福祉医療給付制度の改正について

県、町単医療給付事業、町は所得制限なしで行う。

総合窓口業務の時間延長の見直し(案)について

月曜日を指定した早朝時間延長は取りやめ、原則、祝日除き毎週月曜日午後7時まで電話等での事前予約方式で対応する。

AEDの設置について

設置場所は、月山リフト下駅、開発センター、大井沢温泉館の三箇所

AED(自動体外式除細動器)心臓への電気ショック治療器

ケアハイツ西川デイサービスセンターの増築について

施設依存から在宅サービスに重点を置くことから、デイサービスの重度介護者の受け入れが必要なため

病院の運営状況について

患者の動向は、入院、通院ともに年々6%前後減少している

西川町総合開発(株)の経営状況報告について

原油の高騰により経費が膨らみ、収益に影響あり。自然水、地ビールは昨年実績を確保。

6月30日

西部地区の小学校統廃合の進め方について

今後の取り組みと、物品は人間小に集めて展示する

発芽胚芽米プラントの建設について

吉川地内とする

議会へのおさそい

皆さん傍聴してみませんか
次回定例会は9月招集です

議会活性化調査特別委員会

五月三十一日幹事会が開催され、今後の進め方が協議されました。

先の議会定数調査特別委員会からの継続である五

一、常任委員会の所管事務見直しと活性化

二、委員会の公開

三、一般質問の一問一答方式の導入

四、審議会、委員会への就任、諸行事への出席等の見直し

五、重要課題に対する議会の早期対応

の協議と、議員定数減による組織の見直しを行うことを確認しました。

六月二十日町村議会議長の武田事務局長より「分権時代に対応した町議会の活性化」の講演と研修会を行いました。

十八年度の行政視察は、北海道の栗山町、福島町で議会活性化の研修を実施します。

広報調査特別委員会 研修報告

五月三十日にビッグウィングにおいて、議会だよりづくりの研修があり、全員参加して研修してきました。今回初めてクリニックしていただき、議会だよりの作り方や、内容や、誤字、脱字などが無いよう、読む

人の立場にたつてわかりやすく作ることを勉強してきました。初めてのクリニックだったのでたくさん指摘していただき次回から研修の成果が出せるようにしたいものです。ほめていただいたところは、一段上を目指して行きたいと思えます。



きれいな町に

農家の厄介もの 「つくし」が商品に？



つくしの採取

つくしんぼ。春の日差しを受けて田んぼの畦や土手にたたくむ姿は、なんともほのぼのとした光景であり、昔話を連想させてくれるが、農家の厄介者に他ならない。このつくしんぼ、この春大井沢で大きな話題となった。

四国に本社があるという企業の若手社員が突然現れ、「つくしを取れるだけ取ってほしい」というのである。何に使うのかと問うたが、はつきりした返答もなかった。どうやら健康食品の成分を検出（研究途上）するらしい。

大量の研究材料を確保するため東北地方を探し回り、役場、シルバー人材センターを経て、この大井沢に辿り着いたというのであった。相談を受けた大井沢区長佐藤さんは、何とか地域資源の活用に結びつけられればとこれを引受けることとなった。

作業員は町のシルバー人材センターが担当。極めて急な要請であったが何とか段取りが付いて、五月十七日から作業にとりかかった。

五月二十七日までの十一日間、延べ百五十人を動員し、二千三十六キ口を収穫し冷凍車に収納、無事引き渡した。何と素早い対応に感心するばかり。町内から集ったシル



バー人材のメンバーも残雪の月山朝日の雄大な自然景観を魅了。
「来年もこの作業があればぜひ参加したい」と話している。
果たして、どんな商品が開発されるのか、つくし需要への夢と期待が高まる。
(大井沢支所長)

編集後記

六月十八日朝日連峰夏山開き、七月一日には月山夏山開き式典が開催されました。

毎年ダイエットもせず、いま中高年に警鐘されているメタボリック症候群の典型的な体形で神様のご加護を受けるべく、今年で三年連続の朝日山開き参加となり、元気をいただいできました。

「最近の日本社会は、あらゆる分野で上から下まで、自らの立場、あるべき姿を見失っている人が非常に多い」と言われていますが、守るべき道理、道筋を見失わないようにしていきたいものです。(井場 榮治)

メタボリック症候群、代謝異常症候群、肥満や高血圧などの生活習慣病が三つ重なれば病気になる症候群

《発行責任者》

議長 荒木 邦昭

《編集委員》

吉田勇次 池上 博

新宮 隆 菅野彦祐

井場榮治 古沢俊一